

# 団結破壊・関西生コン弾圧許すな！

## 第90回港地域メーカー盛大に開催



五月一日、恒例の港地域メーカーを開催しました。

九八年以来二十二回目となる恒例の取組みですが、今年は安倍政権が天皇代替わり儀式をぶつけてくる中でのメーカーとなりました。また、戦争と憲法改悪に向かう状況下で激化する関生支部への権力弾圧を共に粉碎する決意を込めて「団結破壊・関西生コン弾圧許すな！」をメインスローガンとしました。

港区のメインストリート「みなと通」をデモ行進した後、田中機械構内で二部集会を行い、港合同の分会の代表と協同シャフト労組から挨拶をいたしました。

その後はもちつき実行委員会に準備してもらつた交流会です。今年も朝

港区八幡屋の入舟公園で開催されました。今年も朝

全国金属機械労働組合 港合同

大阪市港区南市岡3-6-426

TEL 06-6583-4858  
FAX 06-6583-4600



中村委員長の主催者挨拶

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

## メーデー宣言

昨夏以来、連帯ユニオン関西地区生コン支部への常軌を逸した大弾圧が続いている。「ストライキを威力業務妨害・強要」とし「交渉や要請行動を恐喝」とする弾圧は、憲法・労働組合法が定める刑事免責の蹂躪であり、共謀罪の先取り、19世紀英国の団結禁止法の再来とも言われている。同時に大量逮捕・長期勾留は組織破壊を目的とした攻撃そのものであり、断じて許すことはできない。生コン支部は次々と仲間の保釈・奪還を勝ち取り、闘いを前進させている。この闘いを自らの闘いと捉え、生コン支部と共に闘いぬかねばならない

辺野古では土砂投入が続いている。県民投票で、知事選・補欠選で示された民意を踏みにじり。米軍基地強化、日米軍事同盟強化のために辺野古の海を奪うな。普天間基地即時無条件返還。辺野古新基地建設阻止。ただちに埋め立てを止めよ。沖縄を返せ。沖縄に返せ。

安倍内閣は強行採決を繰り返し反動国家体制を強化している。秘密保護法に始まり、集団的自衛権の行使容認、戦争法制、共謀罪、過労死促進の働くかせ方改悪、移民法等々。そして今、9条改憲を軸とする「新憲法」制定を目指すと言う。PKOに参加し、掃海艇や補給艦派遣で米軍に手を貸しても、実戦国家となりきっていないのは平和憲法の存在があるからだ。9条改憲を断じて許してはならない。改憲・戦争反対。諸悪の根源安倍を倒そう。

福島第一原発事故は終わってはいない。原子力非常事態宣言は解除されず、汚染水は増え続け、廃炉の日途も立っていない。国と東電は原発事故の責任をとれ。再稼働を止め、すべての原発を停止せよ。

2度目の朝米会談は具体的な成果を生めなかつたが、終戦と非核化という方向は揺るぎない。むしろ日本政府の対応こそが問題だ。「核とミサイル」と言う前に日本を含む東アジアの非核化に向け舵を切るべきだ。

ダブル選挙と統一地方選挙は大阪維新の躍進を許してしまった。万博を含め、都構想に向けた動きは強まってくる。自治の単位を大きく上に移す都構想は百害あって一利なし。IR・カジノ反対。都構想断固阻止。大阪市はいれずみ処分を撤回せよ。

5月1日は闘う労働者の祭典、メーデーだ。天皇家の代替わりを寿ぐ日ではない。そもそもこの代替わりは憲法違反の「オコトバ」で始まり、東京2020の最中にアキヒトにもしものことがあってはならないという政府の思惑と一致したものだ。国民の時を一人の人間が支配する元号という世界でただ一国となった制度とあわせ、港合同が代替わりに異議ありと明言することの意味と意義を確認する。

第90回メーデーの名において、右宣言する。

万国の労働者、団結せよ！

2019年5月1日 第90回メーデー万歳  
港 合 同

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！